

改版履歴

版数	日付	Author	内容
R1.0	2009/05/20	株式会社 アルテシード	新規作成。
R1.11	2009/07/05	株式会社 アルテシード	<ul style="list-style-type: none"> ・プレフィックス名のサポート。 ・サマリーリストの出力。 ・カタログからエラーが返された時、SYSUDUMP が定義されていれば診断用ダンプを出力するため ABEND する。 ・世代管理データセット対応。
R1.2	2009/07/06	株式会社 アルテシード	・カタログアクセスを CSI インタフェースに変更。

READCAT – カタログリストアップ・プログラム

プログラム概説

READCAT は、カタログのリスティング・プログラムです。カタログの移行、JOBCAT 廃止のための調査用ツールとして AMS の LISTCAT VOLUME の代わりに利用できます。

指定したカタログに登録されているデータセットごとに、名前、ボリューム名、装置タイプを 1 行に編集して出力します。必要とされる情報がコンパクトにまとまっており、見やすいリストになっています。また出力リストは CSV 形式になっているので、PC にダウンロードすれば Excel で自在に加工できます。

提供されるファイル

ファイル名	用途、内容
READCAT.pdf	プログラム・マニュアル
READCAT.obj	オブジェクトモジュール
READCAT-BIND.txt	リンクエディット用 JCL
READCAT-RUN.txt	READCAT 実行用 JCL
READCAT.txt	ソースプログラム(アセンブラ)
READCAT-ASM.txt	アセンブル用 JCL

インストール手順

- ① READCAT.obj ファイルを、MVS 内の任意の区分データセットのメンバー「READCAT」として、バイナリーモードでアップロードします。このファイルは READCAT プログラムのオブジェクトモジュールです。アップロード先のデータセットは RECFM=F または FB、LRECL=80 でなければなりません。
- ② READCAT-BIND.txt ファイルをサンプルにして、①でアップロードしたオブジェクトモジュールをロードモジュールに変換します。特別な理由がない限り、ロードモジュールのメンバー名は「READCAT」としてください。既存のロードモジュール・ライブラリーまたは新規のロードモジュール・ライブラリーいずれでもかまいません。READCAT を格納するのに必要なスペースは 1トラックあれば十分ですが、新規に READCAT の格納用データセットを作成する場合は、再リンケージすることも考慮して余裕あるスペース量を持たせる方がいいでしょう。なお、READCAT プログラムには APF 許可は不要です。

ロードモジュールが作成できたら、インストール作業は終わりです。

プログラムの実行

実行用JCL

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7--
//READCAT EXEC PGM=READCAT,PARM=' catalogname,prefix'
//STEPLIB DD DISP=SHR,DSN=... load module library...
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//SYSLIST DD SYSOUT=*

```

ジョブ制御文 (EXEC 文)

使用目的	指定するプログラム名	PARM パラメータの記述形式
READCAT を実行する	READCAT	PARM=' catalogname,prefix'

ジョブ制御文 (DD 文)

DD 名	装置	編成	RECFM	BLKSIZE	LRECL	データセットの内容・使用目的
STEPLIB	DASD	PO	U	4096	0	ロードモジュール・ライブラリー。
SYSPRINT	SPOOL DASD	PS	FB	0	132	実行結果サマリーの出力データセット。 (通常は SYSOUT データセットを割り当てる)
SYSLIST	SPOOL DASD	PS	FB	0	132	実行結果の出力データセット。 (通常は SYSOUT データセットを割り当てる)

PARMパラメータの指定方法

パラメーター	パラメーターの意味・機能
catalogname	<p>値: カタログ名 省略値: なし(マスターカタログ)</p> <p>リストアップするカタログの名前を指定します。</p>
prefix	<p>値: プレフィックス名 省略値: なし(すべてのカタログエントリー)</p> <p>カタログされたエントリーの中から、リストアップしたいエントリー(データセット名、クラスター名、カタログ名など)の部分修飾名を指定します。このパラメーターを指定すれば、リストアップするデータセットなどを絞り込むことができます。</p> <p>例えば、SYS1.**と指定すれば、SYS1 で始まる名前を持つ、エントリーのみがリストアップされます。</p> <p>名前には総称文字*および%が利用できます。本プログラムが使用している OS のカタログアクセス・インタフェースは DFDSS 同様の部分修飾名指定をサポートします。具体的な使用方法是「DFSMSDss ストレージ管理リファレンス」のデータセット名によるフィルター操作の項を参照して下さい。</p>

出力リスト

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7-----8--
A-NVSM , MY. SOURCE                                , ARTVOL (3010200F)
①          ②                                     ③

```

① エントリータイプ

A-NVSM 非 VSAM データセット
 B-GDG 世代管理データグループ
 H-NVSM 世代管理データセット(非 VSAM データセット)
 C-CLST VSAM クラスター
 I-INDX VSAM インデックス
 D-DATA VSAM データ
 G-AIX VSAM 代替インデックス
 R-PATH VSAM 代替パス
 U-CTLG ユーザーカタログ
 X-ALIS 別名(ALIAS)

② エントリー名(データセット名)

③ ボリューム名と装置タイプコード

最大4 ボリュームまで表示されます。ボリューム名の右横の括弧内が、カタログされている装置タイプコードです。

完了コードとメッセージ

完了コード

完了コード	コードの意味
0	正常終了。
4	指定したカタログは存在しません。
上記以外	OS のカタログサービス・エラー。

※SYSUDUMP DD 文が定義されていると、同じコードで ABEND します。(ダンプ採取のため)

メッセージ

READCAT - PROCESSING ABORT BY CTLG SVC ERROR, CODE=code

メッセージの意味:

OS のカタログサービス(SVC26)からエラーが返されました。

code: エラーコード(16 進数)

04: 指定されたカタログは存在しない

プログラムの動作:

処理を中止して、返されたエラーコードを完了コードにして終了する。

対処:

コード 4 の場合は、正しいカタログ名を指定してください。その他のコードの場合は、REGION サイズを増やして再実行を試みてください。

READCAT - PROCESSING ABORT BY CTLG CSI ERROR, CODE=code1 (code2)

メッセージの意味:

OS のカタログサービス(CSI)からエラーが返されました。

code1: 復帰コード(16 進数)

code2: 理由コード(16 進数)

プログラムの動作:

処理を中止して、返された復帰コードを完了コードにして終了する。code1 が 4 で、code2 のバイト 3 が 64 の場合は処理を継続する。

対処:

code1 が 4 の場合は、IDC3009I メッセージを参照して下さい。メッセージ中の戻りコードには Code2 のバイト 4、理由コードには Code2 のバイト 3 が対応します。code1 が 8 で、code2 のバイト 3 が 01 の場合は、REGION サイズを増やして再実行を試みてください。

注意事項

- マルチボリューム・データセットの場合、4 ボリュームまでを持つデータセットしかサポートされません。5 ボリューム以上を持つデータセットの場合、先頭の 4 ボリュームまでがリスト表示されます。
- OS の AMS ユーティリティと、件数が一致しないものがあります。
 - ① PAGE データセットのクラスターは VSAM クラスターとして読み込まれるため、AMS では PAGESPACE としてカウントされている分が、READCAT では VSAM CLUSTER として計上されます。
 - ② AMS の LISTCAT ALL ではオフラインボリュームの VSAM エントリーについては、INDEX と DATA 部はカウントされませんが、READCAT では VSAM INDEX、DATA としてそれぞれ計上されます。